

第58回全国人権・同和教育研究大会 に参加して

根雨小学校 西村 貴世志

2006年12月2日・3日に、愛媛県松山市で開かれた第58回全国人権・同和教育研究大会に参加しました。

本大会は、大会応援ソング『あなたのことばで（作詞・作曲 しげますよしかず）』で始まりました。生きる輝きを持つ大切さと人となりがあふ感動を、やさしく、でも力強く私に伝えてくれました。

特別報告での龍神太鼓。本気で差別に立ち向かい、厳しい差別に対する怒りの拳をバチに代え、訴えてきた反差別の願いが、一叩き、一叩きごとに私の胸に響き、奮い立たされるようでした。

特別分科会では、『つくろっ 人権文化が輝く社会を』というテーマでパネルディスカッションが行われました。同和教育の充実と発展、人権教育としての再構築とは、人権教育の指導方法などのあり方についてなど、分かりやすく学ぶことができました。

自分から行動を起こさなければならぬということ、そしてそれは自分自身の生き様を通して伝わるということ、応援ソングの歌詞にある、『あなたにはあなたでなければいけないことがある』という言葉を改めて考えさせられた一日でした。いつまでも心に置いて日々の生活を送っていきたいと思います。



各種大会への参加報告

第21回人権啓発研究集会に参加して

日野町役場総務企画課 伊田 喜浩

2007年2月8日から9日にかけて、和歌山県白浜町で開かれた第21回人権啓発研究集会に、同推協地域社会部会長の松本元男さん、教育委員会の松村譲さんと3人で参加しました。

今回の研修では、人種差別や外国人の人権について学ぶことができました。たくさん講演やパネルディスカッションがありましたが、大阪市立大学教授、朴一さんの「在日外国人の人権に関する課題と自治体の対応について」、北海道情報大学助教授、有道人さん（あるとうでびと）の「ジャパニーズオンリー 日本における人種差別」の二つの講演が印象に残ります。

朴さんからは、在日外国人に対する行政サービスや外国籍住民の地方自治への参加についての課題が提起されました。その中で、公務員試験の国籍条項を定める法律はない、自治体の判断で外国人を公務員に採用できるとのことでした。

有道人さんの名前は、アルドウィンクル・デレッドの当て字で、日本国籍を取得された日本人です。北海道にお住まいで、日本人社会の中で発見した外国人差別や不適切な事例を数多く指

摘されています。外国人お断りの入浴施設、外国人犯罪に注意を喚起するチラシの中で不適切な表現などです。詳しくは、有道さんのホームページ（<http://www.debito.org>）に掲載されていますのでご覧ください。

人口減少社会の中で、日本に住む外国人がこれから増加するであろうと言われています。世界中の人から尊敬される日本人になれるよう、もっと人権感覚を磨いていかなければならないとこの研修を通して思いました。



小地域座談会の取り組み報告

身の回りの人権問題について語り合う

町人権・同和教育推進協議会では、日常生活の中にある様々な人権問題に広く目を向けて地域の中で話し合い、人権を大切にしたい明るいまちづくりを進めるため、小地域座談会の取り組みを行っています。

今年度は、2006年10月から2007年3月までを開催期間とし、各自治会長を班長に、町職員や教育関係者を推進員とした23班が地域を訪れて座談会を開きました。

今年度のテーマは「暮らしの中の人権について話しませんか」。資料やビデオなどを通して、同和問題をはじめ、高齢者や子ども、女性に対する差別など、身の回りの人権問題について住民どうしで思ったことを話し合いました。

全自治会での開催が目標

座談会は、すべての自治会で開かれることを目標にしています。今年度の期間中、座談会が開かれたのは、全51自治会のうち30自治会。昨年度(23自治会)に比べ、開かれる回数は多くなっていますが、開かれていない自治会も多く、今後どのように地域に定着させていくかが大きな課題になっています。

2006年度小地域座談会まとめ

テーマ：暮らしの中の人権について話しませんか

サブテーマ：あなたの人権は守られていますか！

座談会での主な意見

ビデオを見て分かった気になるが、また明日になると分からない状況になる。繰り返し学習することが必要。

みんなが参加できるような会を研究する必要がある。

いつの時代でも人間関係は難しいが、特に今はぎすぎすしていると思う。

自分の中の思い込みはなかなか変えられない。

私たちの地域は人と人とのつながりが強く、頼めること、してくれることがうれしい。一番大切なことだと思う。

人権について考え、勉強することが同和問題の根っこにつながると思う。根っこは一つだと思う。

子どもに対して、人間は一人一人、皆が大切な存在だという教育をしてほしい。学歴社会に乗っかっていくだけでは人としての心は育たないと思う。幸せは人それぞれの感覚による。良い学校、良い会社に行けばよいというものではない。

若い人と高齢者が交流する場をどんどん作りたい。家族同士で集まって話ができる場がもてたら良いと思う。

近年、高齢者に対する差別・虐待が言われている。こちらが冗談のつもりでな



参加者どうし、日ごろ気になることなど話し合う

げなくいった言葉が相手を傷つける。自分たちも意識して接する必要がある。

高齢者問題について。認知症を理解することは難しいことだが、理解する努力をし、自分を改革していくことが大事。

自分は一人暮らしをしているが、近所の人に助けられて過ごしている。近所どうしの助け合いのありがたさ、大切さを感じる。

子どもの頃から人権学習に取り組むことはとてもよいことだと思う。もっと学習の機会を増やしてほしい。

「同和問題は自分たちとは関係ない」という考え方になりがちだが、生まれたときからの人権というものを考えていくことで、自分のものとして考えられると思う。